



メンタルケアセンター あずみ

県内初の総合施設 メンタルケアセンターあずみ開設

メンタルケアセンターあずみ センター長 島津 妙子

昨年の12月12日に安曇総合病院附属メンタルケアセンターあずみがオープンし、1カ半月が過ぎました。場所は、大型店舗の跡地で、安曇総合病院から北東に約150メートルのところにあります。当院とも

余り離れておらず、すぐとなりは喫茶店、目の前には池田町役場、近くにはコンビニエンスストアや5分離れたところには総合福祉センターやすらぎの里もあり、結構便利なところではあります。

ここには病院内にある精神科デイケア・訪問看護ステーションいやしが移動し、新たに生活支援相談窓口、心理相談も始めました。また、1月からショートケアもスタートしました。スタッフは医師1人、看護師9人、精神保健福祉士1人、作業療法士2人、心理療法士1人の合計14人です。

内容は相談業務をはじめ、デイケア、ナイトケア、精神科訪問看護のサービス提供と心理相談（要予約）であり、精神科の外来患者さんを地域で支える体制を整えました。多機能をひとつの施設に集約することで、障害を抱えた方が、社会的な自立をサポートできるようにすることがねらいです。相談からサービス提供とその後のフォローなど、内容は盛りだくさんです。このようなスタイルの施設は県内にはまだ無く、手探りのところもありますが、利用される方が満足していただけるように、スタッフ一同知恵を絞り皆さんの意見を参考にさせていたいただきながら、運営していきたいと考えております。これからもどうぞよろしくお願いたします。



J A長野厚生連安曇総合病院

き ず な

第240号

発行所:〒399-8695
北安曇郡池田町池田3207-1
TEL(0261)62-3166(代)
J A長野厚生連安曇総合病院
発行責任者:院長 中川 真一
編集:きずな編集委員会
<http://www.janis.or.jp/users/azumi-hp/>



ひろびろとした デイケアルーム



開所式の様子

■メンタルケアセンターあずみ
☎0261-62-9830
FAX 0261-62-9860
【相談窓口】
◎メンタルケアセンターあずみ
山口(精神保健福祉士)
◎安曇総合病院
村石(精神保健福祉士)

四季のしおり

雪の少ない一月が終わり、暖冬が続きます。立春。「立春や娘の膝まろき夜の暈(畠山譲二)」このところが急に日脚が伸びてきたことが実感されます。▼二月如月。きさるぎを「衣更着」とも書くように、寒さに着物を重ね着する寒さが続くはずですが、今年はどうなることやら。時に降る雪も重くしめつてすぐに消え、げんきなもの、どこか物足りなく思ったりします。「はるの雪産着のやうに田の真昼(小宅容義)」「再びの名残の雪と思ひけり(高木春子)」▼ひとまず春の気配を遠くから探してみるのが、この時期の楽しみではありませんか。「道祖神に赤い菓子置き春を待つ(藤岡筑邨)」「春隣灯下子の髪漆黒に(加畑吉男)」「林檎の木今だ幼く春を待つ(菖蒲あや)」▼はやりの風邪に、今暫くは油断されませぬよう。

な ず き

眼科に関するQ&A

眼科副部長 太田 いづみ

2月冬本番、皆様眼の調子はいかがでしょうか。眼は直径24mmの小さな球体ですが、外界の情報約8割が眼を通して入ってくると言われ、眼の健康は生活の質(クオリティー・オブ・ライフ:QOL)の維持・向上に不可欠と言っても過言ではありません。ですので、眼に普段とは違う自覚症状があらわれた際、大きな不安を抱いたり、不快に感じたりするのは当然のことだと思います。

そこで今回は、患者さんにいただく質問の中から主なものをふたつ取り上げ、簡単な解説をいたします。

質問1 ゴミのようなものがフワフワ浮いて見えるのですが、大丈夫でしょうか。

回答1 大半の場合、眼の中に生理的な濁りによる現象(生理的飛蚊症)ですが、時に網膜剥離や眼球内の出血などが原因である場合がありますので、眼科にて眼底検査を受けられることをおすすめ

いたします。生理的飛蚊症の場合、病気ではありませんので治療の必要はなく、気になつて仕方がなくても慣れていただくしかありません。そのうちに気にならなくなることも多いです。

質問2 ぶつけてもいないのに白目が突然赤くなったのですが、大丈夫でしょうか。

回答2 白目が赤くなるのは、大きくわけて「充血」と「結膜下出血」のふたつです。特に後者は白目がべったり赤く染まるため、慌てて眼科受診される方が多いです。しかし問題となるのはむしろ前者で、後者は眼科的には治療を要しません。一般の方には鑑別が難しいこともありますが、ポイントとしては、後者は自覚症状に乏しく、「白目が赤い」

以外は痛み・めやに・視力低下・視野狭窄などはありません。ただ結膜下出血を頻回に繰り返す場合は、内科的疾患がかくれていることもありま

すのでご相談ください。いかがでしたでしょうか。少しでも参考にしていただけましたら幸いです。最後にひ

初期研修の修了を迎えて



研修医 岸本 烈純

とつ。「トイレの後『あくし気持ちよかった。』と天を仰ぐ前に、足下をしつかりと見つめ、自分の不始末をぬぐう、そんな人で私はありたい。」眼科に全く関係ありませんでしたね。

今年の3月末で2年間の初期研修が終わります。あつという間の2年間でした。それまで学生としてのほんんと暮らしていた私が、2年前の4月1日を境に医師の卵となり、社会人となりました。

医師の卵として皆さんに随分迷惑をかけてきたなと思います。未だに指示伝票をまとも書けない。しばらくの間は、目標は、すばらしい医師とか大それたものではなく、最低限の仕事ができる医師、指示伝票をまとも書ける医師というところでしょうか。小さな事からコツコツとやっ

て行きたいと思えます。社会人一年目としても随分迷惑をかけました。書類の再提出を何回したことか…。締め切りを何回破ったことか…。社会や会社の仕組みもよく解らないし…。本当に申し訳ないです。

2年間を振り返ると謝る事ばかりの私ですが、それでは反省文になってしまふので他のことも。この病院に就職できて本当に良かったと思えます。佐久に半年間行つて帰ってきた時に、皆さんから暖かい声を沢山かけてもらいました。佐久に行く前は気づかなかったのですが、こんなに沢山の知り合いが出来ていたのだなと思えました。皆さんと挨拶し合えるのが本当に楽しくて、それが仕事を頑張ろうという気力の源にもなります。2年間頑張つてこられた理由の一つは、安曇病院のスタッフの雰囲気の良いだと思えます。

2月と3月は白馬診療所に行き、そのまま次の就職先に行くことになると思います。医師としての私にご指導して

くださった方々、社会人としての私にルールを教えてください。さつた方々、声をかけたり挨拶をしてくださった方々、皆さんに感謝です。そしてこの病院を2年前に選んだ自分自身を褒めてあげたい(紹介してくれた王子先生に感謝)。

ひつらひつら

看護部 三好 幸三

最近、我地区の消防団も消防署と同様のユニホームに変更になった。子供達にも「父ちゃんかっこいい!」と好評である。法被は今後も使用していくが、年に数回程度となる。長年法被を着ていたため心なしか寂しい気がする。

寂しいといえば、我地区に若者が少ないのである。気のせいかなのか?消防団への勧誘へ行こうと思つても対象となる若者がいないのだ。

年々団員の確保が厳しい中、少数精鋭で何とか乗り切っている。何しろ火事のみならずあらゆる災害や人探しと多方面において地域を守る任務が

な ず き

ある。飲んでばかりいると思われがちだがそうでもない。今後も地域を守る事の大切さと雄姿を子供達に見せる事が出来たらと思っている。

地域福祉科の紹介

地域福祉科長 臼井 真帆

地域福祉科、耳慣れない科だと思えます。医療相談室や居宅介護支援事業所（居宅）が属している部署という馴染みがあるでしょうか。

地域福祉科には、精神保健福祉士、社会福祉士、介護支援専門員が所属しております。業務を行っている場所は、院内の医療相談室、居宅以外にも、メンタルケアセンター内の精神科デイケアや、出向や派遣先である、障害者総合支援センター（県内の圏域ごとに設置されています）、JA居宅など多岐に渡っています。

業務内容の一つとして、病気やケガ、加齢に伴って生活し辛い状況になったとき、様々な制度や関係機関など、社会資源に繋げることで、少しでも暮らしにくさを軽減できる

ように、お手伝いをする事です。地域福祉科という科名の通り「地域の中の生活者を支えていく」という視点を持って業務を遂行しております。

さて、医療相談室と居宅は、昨年12月に精神科病棟北東の旧精神科デイケア棟に移転しました。外来棟2階の現在皮膚科にも、相談用の部屋はありますので、御用の方は、皮膚科受付前に設置されている内線用の電話で3291番までご連絡いただければ、こちらから伺います。

がん相談窓口としてのご相談も受けておりますので、お気軽にご利用ください。



トピックス・アズミ

▼12月29日、仕事納めの式を行ないました。

▼1月4日、仕事始めの式を行ないました。

▼1月29日、第19回大北南部地区病診連携懇話会運営委員会が開催されました。

地域医療懇談会を開催します

①日時 平成19年3月17日

午後1時半～3時

②会場 安曇総合病院外来棟2階会議室

③内容 講演2題

◎「身近にある心の病気」

中村伸治医師

◎「メンタルケアセンターあずみについて」

島津妙子センター長

④問い合わせ

安曇総合病院 中山裕朗

☎0261-61-1163

どなたでも参加できます。

抽選で5名様に木製プラランターをプレゼントします。

老人性認知症センター関係者研修会のお知らせ

平成12年4月に施行された

介護保険制度は、老後の安心を支える仕組みとして定着してきました。それとともに介護保険の総費用は急速に増大し、現状のままでは財源が立ち行かない状況が予想され、

それを受けて今年度4月に制度改正がされました。これをテーマ『平成18年介護保険制度改正 その後』としてシンポジウムを開催いたします。

○日時 平成19年3月8日 18時～

○場所 安曇総合病院 外来棟2階会議室

○シンポジスト 小林 満（北アルプス広域連合介護保険係長）

中谷易功（老人保健施設ライフ2施設長）

宮沢里志（宅老所たんぼぼハウス管理者）

山本幸恵（居宅介護支援事業所管理者）

ボランティアコーナー

今年は暖冬と言われているものの、やはり毎朝布団から出るのは一苦勞です。春の訪れが待ち遠しい今日この頃ですが、一足早く病院の玄関には梅の花が春を彩っています。こちらもボランティアの方の好意で玄関に飾っていただきました。ありがとうございます。

さて、ボランティア委員会では、4月にボランティア養成講座を開催する予定です。日程・募集については追ってお知らせが出来ますのでよろしくお願致します。

今年、雪が少なく過こし易いのですが、何か物足りなさを感じ、北アルプスの山々を見ても、もの寂しさを感じる今日この頃です。

雪は無くとも、風は冷たく体調を崩し易い季節が続きます。インフルエンザの流行も、例年に比べて後れております。手洗い、うがい、マスクは欠かせず、体調には気を付けていただきたいと思います。

編集後記

今年、雪が少なく過こし易いのですが、何か物足りなさを感じ、北アルプスの山々を見ても、もの寂しさを感じる今日この頃です。

雪は無くとも、風は冷たく体調を崩し易い季節が続きます。インフルエンザの流行も、例年に比べて後れております。手洗い、うがい、マスクは欠かせず、体調には気を付けていただきたいと思います。

今年、雪が少なく過こし易いのですが、何か物足りなさを感じ、北アルプスの山々を見ても、もの寂しさを感じる今日この頃です。

雪は無くとも、風は冷たく体調を崩し易い季節が続きます。インフルエンザの流行も、例年に比べて後れております。手洗い、うがい、マスクは欠かせず、体調には気を付けていただきたいと思います。

今年、雪が少なく過こし易いのですが、何か物足りなさを感じ、北アルプスの山々を見ても、もの寂しさを感じる今日この頃です。

雪は無くとも、風は冷たく体調を崩し易い季節が続きます。インフルエンザの流行も、例年に比べて後れております。手洗い、うがい、マスクは欠かせず、体調には気を付けていただきたいと思います。

今年、雪が少なく過こし易いのですが、何か物足りなさを感じ、北アルプスの山々を見ても、もの寂しさを感じる今日この頃です。

雪は無くとも、風は冷たく体調を崩し易い季節が続きます。インフルエンザの流行も、例年に比べて後れております。手洗い、うがい、マスクは欠かせず、体調には気を付けていただきたいと思います。

今年、雪が少なく過こし易いのですが、何か物足りなさを感じ、北アルプスの山々を見ても、もの寂しさを感じる今日この頃です。

雪は無くとも、風は冷たく体調を崩し易い季節が続きます。インフルエンザの流行も、例年に比べて後れております。手洗い、うがい、マスクは欠かせず、体調には気を付けていただきたいと思います。

今年、雪が少なく過こし易いのですが、何か物足りなさを感じ、北アルプスの山々を見ても、もの寂しさを感じる今日この頃です。

安曇総合病院理念

私たちは、皆さまに満足いただける親切・安全な保健・医療・福祉サービスの提供に努めます。

私たちは、事業活動を通じJAGグループや地域の関係機関と連携し豊かな地域づくりに参画します。

私たちは、皆さまとともに病気の予防と早期発見につとめ地域の健康増進に貢献します。

私たちは、安定した運営基盤のもとに医療内容の充実と療養環境の改善につとめ、皆さまに信頼される病院づくりをめざします。

基本方針

- ・皆さまが満足できる適切で安全な医療の提供につとめる。
- ・皆さまの権利とプライバシーを尊重する。
- ・皆さまへ十分な説明をし、理解と同意をいたたくことを全ての医療活動の前提とする。
- ・近隣医療・福祉施設と連携し、地域医療・福祉の充実につとめる。
- ・地域のニーズに即応できる救急医療体制の整備充実につとめる。
- ・在宅医療支援活動の増進につとめる。
- ・保健予防活動に積極的に取り組み、地域の皆さまの健康増進に貢献する。
- ・病院職員の健康・福祉の増進につとめる。
- ・適切で明確な病院運営方針を策定し、その実現につとめる。
- ・厚生連の諸活動やその他の文化・研究活動に積極的に参加する。

《 診 療 案 内 》

平成19年2月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科(一般)初診	山口	東方	川上	岡田	早野	林田
	内科(一般)再診(予約制)	川東 上林	川岡 上方	早山 東田	野口 上方	中川(9時30分～) 山口 林田	早野 岡田
	循環器科	東方	池田(信大)	東方	鈴木(信大)	元木(信大)	
	呼吸器科	山口	岡田	山口	岡田	山口	信大
	神経内科	川中 (9時30分～)	浅野	川中 (10時～)	林田 (紹介患者さんのみ)		林田
	血液内科		川上	川上			
専門外来				一條(肝臓) 洞(腎臓)		高梨 (リウマチ・膠原病)	
精神科	初診	中村	鬼頭(午前)	村田	長村(午前)	鬼頭(午前) (新患のみ)	
	心療内科再診(予約制)	村鬼 田頭	村中 田村	竹鬼 内頭	中長 村村	村田 鬼頭	鬼頭
	精神科再診(予約制)	村鬼 中長	村鬼 田頭	竹鬼 鬼長	中長 村村	村田 村中	鬼頭 中村
	夜間診療(予約制)			村田・鬼頭・中村・長村			
小児科	午前	信大	保刈	原刈	保刈	原又は保刈	信大 (原又は保刈)
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)	内分泌外来(第3週) (予約)	慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外科	一般外来	金谷	佐藤	佐藤	金谷	金谷	佐藤
	呼吸器外科	花岡(午後)			花岡		
	形成外科(受付15時30分まで)		伴緑也 (13時から診療)		伴碧 (13時から診療)		
	乳腺内分泌外科	信大(乳腺) (初診受付10時まで)		藤森(乳腺) (初診受付10時まで)		信大(甲状腺)	
整形外科(受付10時30分まで)	最上 柴田 薛	谷松 柴高	川原 田橋	最上 柴田 薛	谷向 松	川山 原	最上・向山 ・松原・柴田 (輪番で担当)
皮膚科	芦田(信大)				太田(由)(診療日:9-23日)	太田(由)	
泌尿器科			河内(信大)				
産婦人科			石塚(信大)				
産婦人科	信大	曾根原	信大		信大		
眼科	太田(い)	太田(い)	検査・手術 (外来休診)	太田(い) (午後コンタクトレンズ要予約)	太田(い) (受付10時まで)	信大	
耳鼻咽喉科		信大 (14時から診療)			信大 (14時から診療)	信大 (受付11時まで)	
放射線科	高山(曾根)	曾根	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)	
麻酔科(受付11時まで)	松本	松本	松本	松本	松本	松本	
リハビリテーション科	岡田	早野	中川	林田	緒方		
歯科口腔外科	中	中	中	中	中	中	

☆第2・4・5土曜日(2月10日・24日)、祝日(2月12日)は休診です。